

桜江町商工会 平成 30 年度 経営発達支援事業実績

《自己評価》 A：大変効果があった B：まあまあ効果があった C：あまり効果がなかった D：まったく効果がなかった

経営発達支援事業		評価
1. 地域経済動向の調査 景況調査の実施 目標 23 事業所 実績 23 事業所 ・23 事業所を選定し四半期ごとに調査を実施。 調査結果を記帳専任職員が「調査票集計システム」に入力を行い、製造業、建設業、小売業、サービス業の業況について分析し、一覧表にまとめた資料を経営支援会議にて職員間で共有し、業種毎の景況感について把握した他、会員事業所及び他機関との情報交換の際の資料として提供。会報により全事業者に提供。		A
2. 経営状況の分析 経営状況の分析支援 目標 48 事業所 実績 48 事業所 ・過去 3 期分の決算資料を基に、48 事業者の財務分析資料を作成。今まで「強みや弱み、市場の特性」など定性的な部分の把握 を行っていなかった事業者は、本事業により自社の置かれている状況を客観的に把握できた。		A
3. 事業計画策定支援 事業計画策定セミナーの開催 目標 2 回 実績 4 回 ・事業計画策定支援 目標 20 事業所 実績 15 事業所（うち専門家活用 9 事業所） 巡回・窓口指導を通じて、事業計画策定の必要性等について説明し、専門家と事業所を回りながら事業計画策定を目指す事業者の掘り起こしを行った。また、専門家と共に事業計画書を作成することで実現可能性の高い計画となった。		A
4. 事業計画実施支援 事業計画実施支援 目標 20 事業所 実績 15 事業所 ・事業計画を策定した事業者に対しては、定期的な巡回等による 3～4 ヶ月に 1 回のヒアリングを行い、計画の進捗状況を確認 した。前年度までに事業計画を策定した事業所を優先的に計画の検証を行い、事業継続の観点での成果をあげたい。		C
5. 需要動向調査 日銀の短観や日経 MJ 等の抜粋資料を収集し、年に 6 回実施する商工会報の配布に併せて情報提供を行った他、巡回・窓口指導の際に情報を提供した。しかし、一方的な提供に終わっており、提供した情報から事業系買うの策定には繋がっていない。		A
6. 新需要開拓 桜江地域活性化会議の開催 「地域活性化会議」は開催していないが、江津市 6 次産業創造戦略会議に出席している、1 者の新商品開発の支援を行った。生産・加工・販売事業者によるネットワークの構築と連携により販路開拓を支援する。 生産者と酒屋とのネットワーク構築により焼酎の完成につなげた。販路開拓についても地域の酒屋を通じ販売。今後はネットでの販売を支援する。 県連主催の販路開拓事業への参画を促し食品表示から商談会など一貫した販路開拓を支援する 今年度は応募がなく支援出来ていない。しかし、島根県が行った「食品表示」説明会には 1 者出席している。		C
地域経済の活性化		
1. 「桜江地域活性化会議」を 2 回開催し、特産品を中心とした地域経済活性化の方向性を検討する 「桜江地域活性化会議」は江津市が行う、江津市 6 次産業創造戦略会議の委員とほぼ同じため開催していない。 2. 活性化会議の方向性を踏まえ、農水産品・特産品の PR、特産品祭りを開催し商品開発や販路開拓を図る 江津市 6 次産業創造戦略会議により、市と連携し海外の展示会への支援を行った。		B
支援能力向上の取り組み		
1. 支援機関連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換 研修やブロックの定期的な連絡会議で、タイムリーな情報交換や資質の向上を図っている。		A
2. 経営指導員等の支援能力向上 研修会への参加による職員資質向上を図り、加えて個々でのスキルアップに取り組んだが、そのノウハウを他の職員の能力アップにまではつなげられなかった。		A
3. 事業評価と見直し 毎月の職員会議で取り組み状況の検証・見直し・評価を行い役員会で報告予定。		A